

## 新成長戦略及び新たな情報通信技術戦略における位置付け

### 新成長戦略(抜粋)【平成22年6月18日閣議決定】

第3章 7つの戦略分野の基本方針と目標とする成果  
成長を支えるプラットフォーム

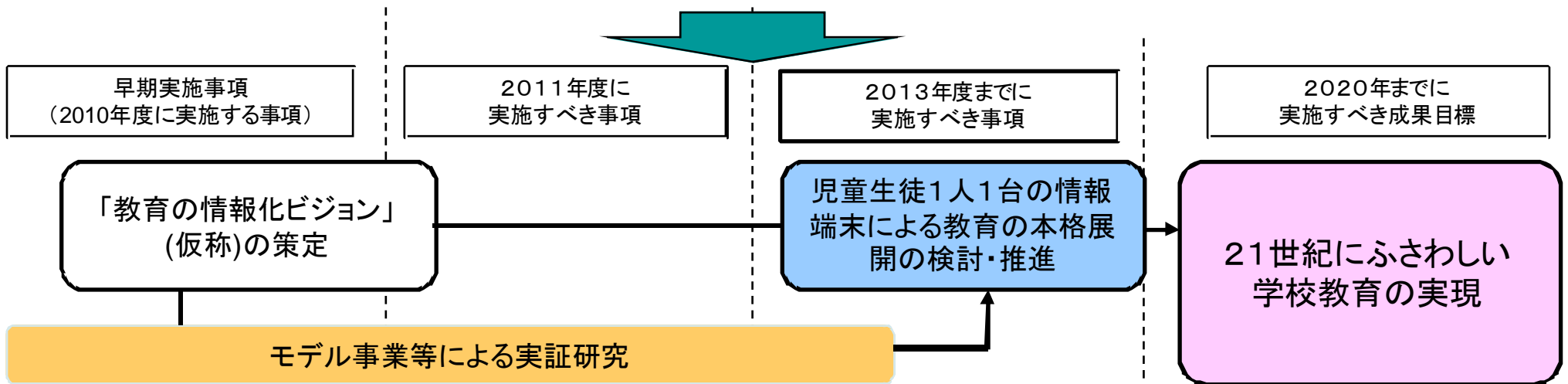
(5) 科学・技術立国・情報通信立国戦略 ～IT立国・日本～ (情報通信技術の利活用による国民生活向上・国際競争力強化)  
(略) 子ども同士が教え合い、学び合う「協働教育」の実現など、教育現場や医療現場などにおける情報通信技術の利活用によるサービスの質の改善や利便性の向上を全国民が享受できるようにするため、光などのブロードバンドサービスの利用を更に進める。(略)

### 新たな情報通信技術戦略(教育関連)【平成22年5月11日IT戦略本部決定】

#### Ⅲ. 分野別戦略 2. 地域の絆の再生 (3) 教育分野の取組

#### 重点施策

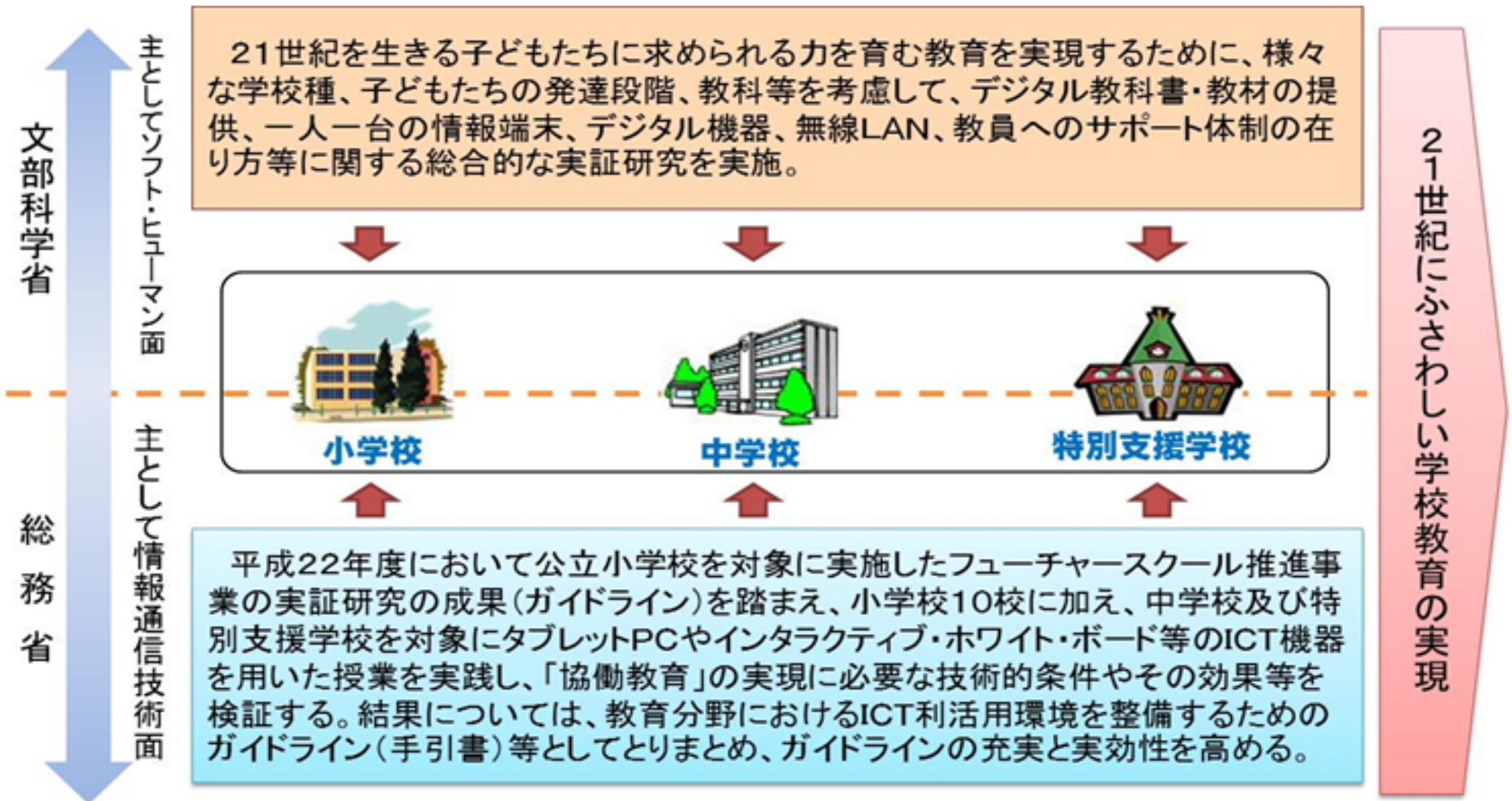
情報通信技術を活用して、i) 子ども同士が教え合い学び合うなど、双方向でわかりやすい授業の実現、ii) 教職員の負担の軽減、iii) 児童生徒の情報活用能力の向上が図られるよう、21世紀にふさわしい学校教育を実現できる環境を整える。また、国民の情報活用能力の格差是正を図るとともに、情報通信技術を活用して生涯学習の振興を図る。



「新成長戦略」(平成22年6月18日閣議決定)工程表 (抜粋)

# 文部科学省と総務省の役割分担

文部科学省と総務省の緊密な連携の下、文部科学省は、主として教育用コンテンツの開発や教員の研修支援など、ソフト・ヒューマン面から、総務省は、主として教育の情報化に係るICTの導入手法など情報通信技術面を、子どもたちの発達段階、教科、地域性等実態に即した、教育の情報化に向けた取組を実施。



# 学びのイノベーション事業・フューチャースクール推進事業の実施体制及び主な取組

	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業実施体制の構築		両省協議会 (第1回11/14開催)	
	ICTを利活用した協働教育推進のための研究会 (計5回開催)	フューチャースクール推進研究会 (第1回7/27開催)	
		学びのイノベーション推進協議会 (第1回8/3開催)	
		小中学校WG・特別支援教育WG・ICT活用の際の留意点に関するWG (第1回8/4開催) (第1回9/9開催) (年内に開催予定)	
	地域協議会 (小学校10校)	地域協議会 (小学校10校、中学校8校、特別支援学校2校)	
実証校における効果・影響の検証、指導方法の開発及び情報通信技術面の検証	総務省フューチャースクール実証校 (小学校10校)	小学校10校 (総務省フューチャースクール実証校を選定)	
		中学校8校 (8/30選定)	
		特別支援学校2校 (8/30選定)	
モデルコンテンツの開発	小学校 国語科・算数科(第4・5学年) 外国語活動(第5・6学年)	小学校 社会科・理科 (第5・6学年)	小学校 国語科・算数科 (第3・6学年)
		中学校 国語科・数学科・外国語(英語)科 (第1・2学年)	中学校 社会科(地理・歴史・公民) 理科(1・2分野)
		特別支援学校 (実証校で開発、実証)	

# 実証校マップ

小学校: □ (平成22年度~)    中学校: ■ (平成23年度~)    特別支援学校: ■ (平成23年度~)

ながの しりつ しおさき  
長野市立塩崎小学校  
児童数: 315人

さ が え しりつ たかまつ  
寒河江市立高松小学校  
児童数: 143人

いしかりしりつ こうなん  
石狩市立紅南小学校  
児童数: 409人

ひろしましりつ ふじのき  
広島市立藤の木小学校  
児童数: 252人

とやまけんりつふるさとしえん  
富山県立ふるさと支援学校  
児童生徒数: 27人

じょうえつきょういくだいがくふぞく  
上越教育大学附属中学校  
生徒数: 363人

さ が しりつ にしよか  
佐賀市立西与賀小学校  
児童数: 273人

うちなだちょうりつ おおねぶ  
内灘町立大根布小学校  
児童数: 531人

きょうとしりつとうようそうごうしえん  
京都市立桃陽総合支援学校  
児童生徒数: 42人

さがけんりつたけおせいりょう  
佐賀県立武雄青陵中学校  
生徒数: 474人

みやこじましりつしもじ  
宮古島市立下地中学校  
生徒数: 117人

にいみしりつ てっせい  
新見市立哲西中学校  
生徒数: 64人

しんちちょうりつしょうえい  
新地町立尚英中学校  
生徒数: 257人

ひがしみよしちょうりつ あしろ  
東みよし町立足代小学校  
児童数: 107人

みのおしりつ かやの  
箕面市立萱野小学校  
児童数: 596人

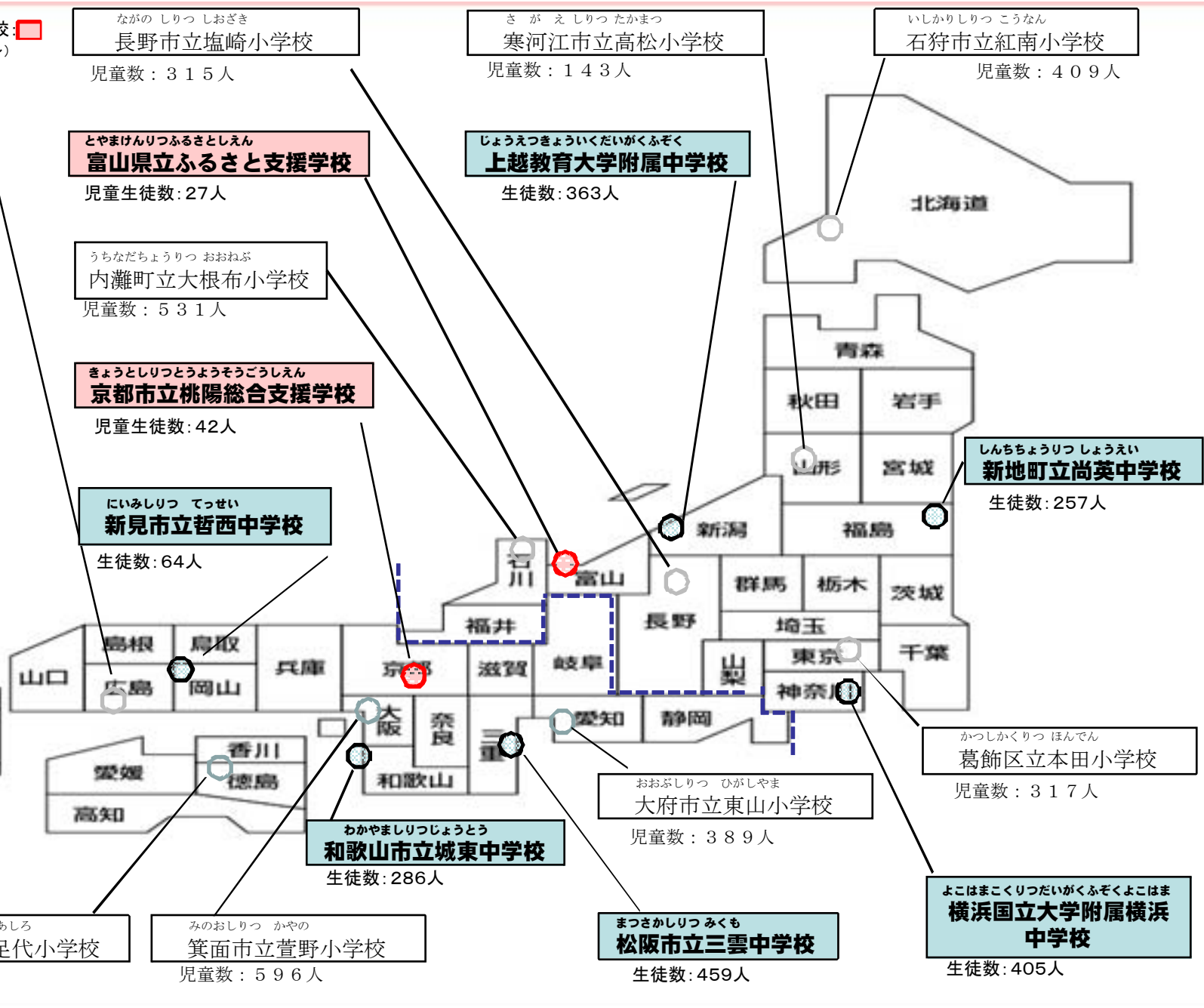
わかやましりつじょうとう  
和歌山市立城東中学校  
生徒数: 286人

おおぶしりつ ひがしやま  
大府市立東山小学校  
児童数: 389人

かつしかくりつほんでん  
葛飾区立本田小学校  
児童数: 317人

まつさかしりつ みくも  
松阪市立三雲中学校  
生徒数: 459人

よこはまこくりつだいがくふぞくよこはま  
横浜国立大学附属横浜中学校  
生徒数: 405人

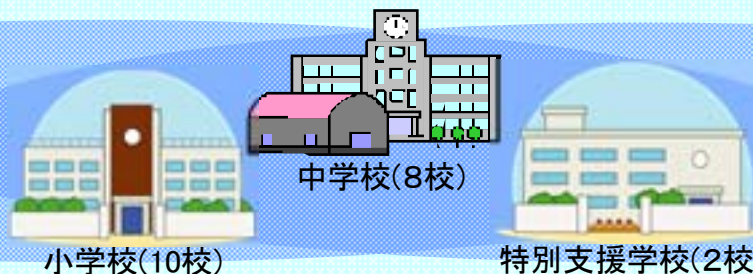


## 学びの推進基盤の確立

21世紀を生きる子どもたちに求められる力を育む教育を実現するために、様々な学校種、子どもたちの発達段階、教科等を考慮して、デジタル教科書・教材の提供、一人一台の情報端末、デジタル機器、無線LAN、教員へのサポート体制の在り方等に関する総合的な実証研究を実施

総務省  
フューチャースクール推進事業

〔主としてハード・インフラ・  
情報通信技術面から実施〕



文部科学省  
学びのイノベーション事業

〔主としてソフト・ヒューマン・  
教育面から実施〕

### 学びの場における情報通信技術の活用実証研究



- 学校種、発達段階、教科等に応じた効果・影響の検証
- デジタル教科書・教材、情報端末等を利用した指導方法の開発
- モデルコンテンツの開発
- 一人一台情報端末に必要な機能の選定・抽出等の開発

## 学びの知的基盤の確立

教員同士が教材を共有等してよりわかりやすく深まる授業を実現するため、教育の情報化に関する調査研究やその成果等の普及を図る

### 教育の情報化推進体制の整備

- 国内の情報通信技術活用好事例等の収集・普及・促進
- 教育の情報化の実態に関する調査等

教育分野におけるICTの効果的な利活用を促進するため、情報通信技術面を中心とした検証を行い、有効性を検証するとともに、教育分野の情報化のためのガイドライン(手引書)をとりまとめ、教育現場の実態に即した、ICTによる教育改革(協働教育システムの実現)を推進する。

## 1 施策の概要

- (1) 教育分野におけるICTの利活用は、情報化に対応した教育の充実、児童の学習・授業参加意欲やICT利活用能力の向上につながるものであり、教育現場の実態に即した効果的な利活用の推進が必要な段階となっている。  
新成長戦略において、21世紀にふさわしい学校教育の実現に向けて「モデル事業等による実証研究」を実施することとされている。
- (2) ICTによる教育改革(協働教育システムの実現)を推進するため、ICT利活用型教育プロジェクトとして、フューチャースクール推進事業を、文部科学省と連携して実施する。具体的には、ネットワーク構築やセキュリティ技術など情報通信技術面を中心に課題を抽出するとともに、教育分野におけるICT利用環境を整備するためのガイドライン(手引書)等を取りまとめる。
- (3) 平成24年度においては、平成23年度から継続する小学校10校、中学校8校及び特別支援学校2校合計20校を対象に、引き続き、子どもたちの発達段階、教科等を考慮したICTの利活用を通じた総合的な実証研究を実施する。  
また、東北地方太平洋沖地震を踏まえ、学校施設に整備されたICT環境の災害時における効果的な利活用方法、その実現に向けて対策が求められる課題、要求事項を明らかにするための実証研究を行う。

## 2 イメージ図

